



人の話を「聴く」とは？

長い2学期も半分が過ぎました。学校では、子どもたちの楽しみにしていた社会見学（1～4年生）や森林体験（5年生）が終わりました。社会見学当日は、とてもいい天気で各学年楽しく見学や自由時間を楽しんだようです。森林体験当日は、雨が降ってしまい山に入ることは出来ずにドームの中での体験となっていました。間伐材を使った木工作品を上手に作っていました。



明日から6年生が、奈良・京都に修学旅行へ行きます。歴史に触れたり集団行動をしたりする中で楽しい思い出をたくさん作ってほしいです。

「聞」と「聴」の漢字の意味の違いについて、国語辞書は次のように記しています。

『日本国語大辞典』（小学館）

【聞】（ブン・モン）音を耳で感じ取る。自然に耳に入ってくる。聞いて知る。

【聴】（チョウ）聞こうとして聞く。注意してよく聞く。「聴聞」「傾聴」

『広辞苑』（岩波書店）

広く一般には「聞」を使い、注意深く耳を傾ける場合に「聴」を使う。



「聴く」ということは、その内容をしっかり理解しようと耳を傾けること。日常生活の場面では、人の話（報告）をきちんと聴けないときがしばしばあります。疲れているときや急いでいるときがそうです。

それから、人の話しを最後まで聴けない人もいます。例えば、話（報告）の途中で口をはさんでしまい、聞き手が「こういうことか。」と端折ってしまうと、肝心な部分を聞きもらしてしまい、適切なアドバイスや褒めるタイミングを逸してしまうことがあります。（私自身の子育て中の反省です。）

話を「聴く」メリットとして、人間の脳の仕組み上、考えは言葉にして出すとよくまとまります。悩みや問題が発生したとき、誰かに聴いてもらうことで自然に問題解決のアイデアが浮かぶこともあります。そして、話しを聴くことは相手の存在を認めることで、相手への信頼感（安心感）が高まります。

一方的に耳に入ってくる「聞く」ではなく、しっかりと耳を傾けて「聴く」を心がけていきたいものです。

学校開放について



- 開放期間 11月1日（火）～30日（水）
- 開放時間 2・3・4限、5・6限
（給食の時間は、開放していません）

○ 来校時のお願い

- ① 登校される前に必ず検温、健康観察をお願いします。風邪症状等（同居家族を含む）のある場合は、参観をお控えください。
- ② 駐車場はありませんので、徒歩または自転車での来校となります。
（学校周辺や公民館、保育所、商業施設等への無断駐車はしないでください）
- ③ 校門のインターフォンで職員室に連絡してから、学校に入ってください。
- ④ 職員室側の入り口から入っていただき、サーモカメラで検温後、職員室前で来校者名簿に記名をお願いします。
- ⑤ 来校者とわかる名札を渡しますので首におかけください。
（参観は、児童1人につき1時間（45分授業）以内とします）
- ⑥ 帰られる時も職員室に声をかけて、名簿に時刻を記入して名札を返してください。
- ⑦ 校内へは、マスクの着用等、感染予防にご協力をお願いします。
（スリッパと下足入れ等の袋もご持参ください）

◆ 開放していない日や時刻について

11月9日（水） 終日（要請訪問のため）

11月16日（水） 午後（午前中授業参観のため）

11月24日（木） 終日（初任者研修のため）

その他

11月4日（金）5限目は避難訓練です。参観されている場合、一緒に訓練に参加していただきます。

11月29日（火）マラソン大会のため校舎内への参観はご遠慮ください。

11月30日（水）マラソン大会予備日になった場合も同様です。

※ 出張や補教体制など、通常授業が出来ない場合もありますので、ご了承ください。事前に分かっている場合は、学年や学級からお知らせしますのでご確認ください。よろしくお願いいたします。

※ 授業の様子など、スマートフォン等の撮影は禁止です。

